

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称 藤沢エコネット)

2007年 8月 1日
第159号



主 事
・藤沢市きれいで住みよい環境づくり条例
・私なりの立候補
・ごみ有料化裁判支援の会発足
・有機農産物の安全性とは

事務局〒252-0816 藤沢市遠藤849-9 青柳
☎/FAX 0466-87-4922(夜間のみ)
<http://comcom.jca.apc.org/econet/>

有機農産物の安全性とは、

農薬使用などで農産物の安全性が問われる中で、昨年12月「有機農業の推進に関する法律」が施行され、農水省から基本方針も発表された。

同法によると、有機農業とは化学肥料・農薬を使用しないこと、遺伝子組み換え技術を利用しない農業ということである。安全・安心・健康によい農産物を求める消費者にとって歓迎される法律だが、コスト高を補う高価格品への消費者の選択如何と、生産者に対する国の支援措置ができるか等が問題である。

2004年度の国産農産物に占める有機農産物の割合は0.16%にすぎない。一方、有機農業の盛んな欧米諸国からの有機農産物輸入量も増えている。

平成11年には、「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」が施行されている。これは、堆肥等使用で、化学肥料・農薬を減少させる「環境保全型農業」である

「農林物質の規格化及び品質表示の適正化に関する法律」JAS法によると有機農産物の検査認証制度では、有機農産物JASマークは、多年生作物は3年以上、それ以外は2年以上、化学肥料・農薬が使用されていない田畑で栽培されているものとしている。

しかし、使用する堆肥は、輸入飼料により育てた家畜の糞尿によるものである。有機質肥料を過剰施用して硝酸性窒素濃度の高い野菜を生産し、消費者がアレルギーによるアレルギー症状をもたらす、また、その放出による環境への影響も考えられる。

アメリカの有機農作物改良協会の有機農産物の基準は「化学肥料・農薬を3年間一切使わないもの」であり、これ以外は「有機農産物」と名乗ってはならないというもので、欧米諸国による「コーデックス委員会」はこの方向で世界一律の基準をつくろうとしている。

日本のデパートで購入したアメリカの有機農産物認証表示の大豆製品などにスミチオンなど農薬残留があったなど。ウソ表示食品も多く摘発されている。

こうしてみると、有機農産物もその表示についても、不信任が残る。安心、安全の本物の農産物の認定は、生産者と消費者が連携して栽培基準を決め、土づくりや防除など栽培過程で生産者と消費者がお互いの目で確認しあうことが一番ではなかろうか。

(諏訪謙司)

きれいで住みよい環境づくり条例で、路上喫煙に罰金が！

7月20日に、「藤沢市きれいで住みよい環境づくり条例」が施行され、様々な迷惑行為に12月1日から罰則が科せられることになりました。

○喫煙者は路上喫煙禁止区域内（藤沢駅周辺など指定予定）では、喫煙場所以外での喫煙に2万円以下の罰金

○タバコの吸殻や空き缶、空きビンその他の廃棄物を放置すると、2万円以下の罰金

○飼い犬等のふんを放置すると、2万円以下の罰金

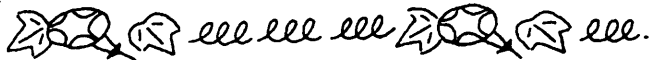
○公共の場所の建物や工作物へ落書きをすると5万円以下の罰金

○午後10時～午前6時の深夜花火に勧告・命令

市職員の指導員と市民の中から選任された推進員が、条例の普及・啓発・指導を行います。違反者には、まず啓発や指導をし、それでも改善が見られない場合、市職員である指導員が勧告・命令の手続きをし、さらに命令に従わない場合には、罰則を適用します。

空き缶等、飲んだら放置するくせのある人をよく見かけます。気をつけましょう。歩きタバコも危険です。他人の迷惑になることは罰則のあるなしに関わらず気をつけたいものです。

遊行通りのトランス等にかかれていた落書きは、そこにきれいに絵画を描くことによって、落書きが書かれなくなりました。この方法を太陽作戦とすると、今回の罰則の方法は北風作戦ともいえます。果たしてどちらがより効果的でしょうか。（青柳）



7月12日「藤沢・ごみ有料化裁判を支援する会」発足

第3回裁判～9月3日

今年3月、「藤沢ごみ問題市民の会」会員の3氏が、横浜地方裁判所に「ごみ有料化条例の無効確認と施行差し止めを求める」訴えを起こしていましたが、この裁判を支援しようと、7月12日、「藤沢ごみ有料化裁判を支援する会」発足会が開かれました。

当日は、20名近い方々が参集し、会の発足を確認しました。

集会には、藤沢市民の他、県外からも「環境方社会システム研究会」のメンバーも駆けつけ有料化についての全国情勢の報告がありました。

集会参加者からは、市の答弁書で書かれていた「2400円や4800円程度の収集袋の使用は不当な負担増とは言えない」等の藤沢市の見解に、厳しい生活実態を知らない、生存権を侵すものであるとの発言が相次ぎ、裁判を勝たせようとの機運が盛り上がりました。

会は、会則、加入呼びかけ文を確認し、会の役員代表に、村上清氏を選出しました。

なお、第3回裁判は、9月3日（月）午前11時30分より 横浜地方裁判所で行われます。

原告3名の原告適格、訴えの利益が有るのかどうか審議が行われます。成り行きによっては、原告3名にごみ有料化無効を訴える資格が無いなどと、訴えそのものを却下される恐れもあり、裁判の行方は予断を許しません。不当な訴訟指揮を許さない為にも、多くの皆さんの裁判傍聴をお願いします。（小林）

私なりの立候補

私は長年、いつか市議会選挙に出てみたいと思っていました。それは、議決について市民からアンケートを取り、その通りに議会で裁決する議員を作りたい、という考えからです。

別に私自身でなくても、そのような議員が一人でも居れば、市民誰もが選挙に勝てなくても主権者の多数意見を議会に直接示せる訳です。

しかし、立候補費用の点、選挙後に供託金が戻らず借金地獄の危険性、フリーターの私が出るという荒唐無稽な点など、そしてごみ有料化に抵抗せず眺めているのもどうか、という事もあり、直前まで悩んでいたのですが立候補する事にしました。

公約をどうするかも直前まで悩んでいたのですが、ごみ有料化反対については、4万人もの署名をもって、市民の多数意見であるかどうかの判断材料としての価値が高いという私の判断に基づき、争点となる議案について住民投票、ごみ有料化については絶対反対、などを私の公約と決めました。

さて費用ですが、まず供託金、これは30万円かかりますが、告示の前の週あたりまでに用意できれば良かったです。これは有効投票数を定数36で割った数を、さらに10で割った数を得票すると選挙後に返ってきます。今回の場合だと、135923票を36で割ってさらに10で割ると377票が供託金没収ラインだったと思います。

ポスターの費用は、選挙後に公費として返ってきますが、供託金同様の得票数を取れなければ、返ってきません。

ポスター貼り！

藤沢市でお金も組織も無い人が選挙に立候補した場合に一番ネックなのが、このポスター貼りだと思います。市内に538カ所、ポスター掲示板があるのですが、1人で自転車などで回っても、1人1日100カ所が良い所でしょう。3人の方に手伝ってもらったのですが全部貼り終わったのは投票日3日前で、私が街頭で演説できたのは、3日半だけになりました。もちろん、事務所は自宅としました。

公選ハガキは2000枚まで公費、自動車の車代と燃料代ですが、これも公費負担の対象になるのですが、私は使いませんでした。環境のためとごみ有料化に賛成し市民に負担をかけたはずの現職候補たちが、公費で選挙カーを動かし市内の空気を汚している光景、これは電車と徒歩で街頭宣伝していた私から見ると奇妙に見えました。

組織も何にも無い私が選挙前から考えを知ってもらうには、ホームページや政治ビラなどで、かなり前から、これをしておく必要があります。

結果は、供託金没収点の377票をおかげさまで上回り442票となりました。結果的に落選し、私以外の441人のかたの一票の権利を活かせなかったわけで、結局のところ、私は50万円以下で立候補でき、実質的な持ち出しは10万円ぐらい、市議になるなら200万円は必要という話は、事務所、金の無い者の被選挙権が差別されているという事を改めて認識するものです。議会が市民の多数の反対があっても多数決だけで進めていくのは疑問、という事も改めて認識した次第です。

ECONET INFORMATION

パパラギ“海と自然の教室” 現代座による語りと歌による構成劇

熱い風

出演 左右田一平 星野正吉ほか

とき 8月20日(月) 18:30 開場 料金3000円

ところ ル・クラシック(藤沢駅南口徒歩7分)

主催/問い合わせ NPO パパラギ“海と自然の教室”事務局 ☎ 26-6101



第40回 みんなの消費生活展

とき 8月25日(土) 10:00~17:00 元気のある農業 市民のつくる流通

素材とぬくもりの食品に 高齢者の現在

8月26日(日) 10:00~15:00 子ども達の食べるもの 世代に応じた食育

ところ 藤沢産業センター6階 展示 手作り工作教室もあります

主催/問い合わせ 藤沢市・みんなの消費生活展実行委員会 ☎ 25-1111(2592)

地球温暖化と太陽光発電等パネル展示

神奈川県庁第2分庁舎 県政情報センター

(みなとみらい線日本大通駅下車)

8月1日~8月31日まで

主催/神奈川県環境計画課

生ごみリサイクル交流会2007

8月28日(火) 9:30~

早稲田大学国際会議場

主催/有機農産物普及促進堆肥化推進協会

☎ 03-5410-3735

ビーチクリーンかながわ2007

8月2日(木) 15:30~17:30

県立湘南海岸公園 海風のテラス

白井貴子ミニコンサート 野口健(登山家)ほかトーク

海岸美化活動発表 展示など

主催/クリーンビーチかながわ2007実行委員会

電話 045-210-4147 県廃棄物対策課



藤沢エコネット

エコネット環境講座 湘南エコセンター(有機質資源再生センター)見学

9月に予定しています

希望者は電話またはFAXで事務局まで 電話/FAX 87-4922 青柳

会員募集→会費3000円 振込口座は→郵便局へ→ 00240-9-46501 藤沢エコネット

次回事務局会議 8月21日(火) 17:30~ 学習文化センターにて

《編集後記》7月16日に襲った震度6強の新潟中越沖地震の被災者、関係者に心よりお見舞い申し上げます。藤沢市にも電気が供給されていると言われる柏崎刈羽原発は設計の3.6倍もの揺れで火災や放射性物質を含む水が海に流出するなど、甚大な損傷を受け、稼働停止しました。地震の頻発する日本での原発の脆さと怖さを感じます。暑い夏、省エネを徹底的に実行しなければ・・・。

(A)